

## 令和元年度卒業式

象頭の山を吹く風はまだ冬の厳しさを残しながらも、徐々に春の躍動を感じさせるようになりました。明るい春の日差しに包まれた今日の佳き日に、香川県立琴平高等学校 第71回卒業証書授与式を挙行できますことをたいへん光栄に存じます。公私ともどもご多用の中、ご出席をいただきました皆様方には、厚くお礼申し上げます。

本校普通科の課程を終え、ただ今卒業証書を授与いたしました192名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、入学以来、一緒に歩いてこられたご家族の方々、今日の日を迎えて大きな喜びを感じておられることと思います。心よりお祝い申し上げます。

皆さんが入学した平成29年は、本校創立80周年の節目の年で、数々の記念行事がありました。まだ、入学して一年もたない皆さんも、それらの行事を経験する中で、琴平高校が地域の熱い思いに支えられており、「地域で学び、地域で育つ琴高生」を実践していることを感じたのではないのでしょうか。皆さんが琴平高校に在籍した期間は3年間と短いものでしたが、オリンピックイヤーの卒業生として、いつまでも琴平高校のことを思い、10年後の創立90周年、20年後の創立100周年の記念行事の中心として活躍してほしいと願っています。

さて、これから皆さんが旅立っていく「令和」の時代は、科学技術の発展やグローバル化がますます進んで行く社会となるでしょう。しかし、限りない経済成長を追求する時代は終焉を迎えたといわれており、少子高齢化といわれた社会構造はすでに超少子高齢社会となっており、生産年齢人口の減少や人口そのものの減少が問題となっております。また、地球環境の異常な変化やごく微細なウイルスによる健康被害など、拡大や成長を重視したグローバル化を求めることによって、今後解決していかなければならない課題も山積みとなっております。

このような時代に最も必要なものは何でしょうか。私は人間の力、皆さんのような若者の力だと考えています。本校を卒業した皆さんは県内への進学・就職される方が多く、県外に進学される方も香川に帰ってきて就職される場合もあり、将来、地元根ざし、しっかりと自分自身や周囲の方々、また、地元地域を大切に生活していく人が多いでしょう。

地元を愛し、地元で愛される人になる必要な力を身に付けるために、皆さんに「琴平道」という授業を行いました。この「琴平道」では、授業の中で地域や進路を考えることを通じて皆さんに次の六つの力を身に付けてもらう事を目標としていました。「こ：ことばで伝える表現力」、「と：とことん追求力」、「ひ：ひとの意見に共感力」、「ら：らしさ」を生かした行動力、「ど：どんなことにも疑問力」、「う：うえを目指して向上力」の六つです。何に対しても興味を持ち、さらに良くなるよう自分の良さを生かして考え、その考えを言葉で周囲の方々に伝えることができる人になれるよう教育を行ってきました。この「琴平道」を学び、校訓の「誠意・熱意・創意」のもと生活してきた卒業生の皆さんは、今後の厳しい社会においてもしっかりと歩いていくことができるはずですよ。さあ、今の自分に自信を持って夢をかなえるために旅立ちの一步を踏み出しましょう。

最後に、本校の教育活動にご理解ご支援をいただきました、保護者の皆様方、また地元の皆様方に厚くお礼を申し上げますとともに、卒業生の皆さんの末長いご健勝とご多幸を祈念し、式辞いたします。

令和2年3月2日

香川県立琴平高等学校  
校長 志賀 紀之